

発注のご案内(Non-PM タイプ)

モデル	内容
F-CPL-1550-N-FP	可変レシオカブラ、1,550 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-1550-N-FA	可変レシオカブラ、1,550 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ
F-CPL-1300-N-FP	可変レシオカブラ、1,300 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-1300-N-FA	可変レシオカブラ、1,300 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ
F-CPL-1060-N-FP	可変レシオカブラ、1,060 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-1060-N-FA	可変レシオカブラ、1,060 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ
F-CPL-830-N-FP	可変レシオカブラ、830 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-830-N-FA	可変レシオカブラ、830 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ
F-CPL-630-N-FP	可変レシオカブラ、630 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-630-N-FA	可変レシオカブラ、630 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ

発注のご案内(PM タイプ)

モデル	内容
F-CPL-1550-P-FP	可変レシオカブラ、1,550 nm、PMファイバ、FC/PCコネクタ
F-CPL-1550-P-FA	可変レシオカブラ、1,550 nm、PMファイバ、FC/APCコネクタ
F-CPL-980-P-FP	可変レシオカブラ、980 nm、PMファイバ、FC/PCコネクタ
F-CPL-980-P-FA	可変レシオカブラ、980 nm、PMファイバ、FC/APCコネクタ

コンパクト時間遅延コイル Compact Time Delay Coils



- コンパクトなサイズ
- 低い挿入損失
- 遅延長を選択可能
- 頑丈な構造
- 簡単な使用方法

コンパクトで損失の小さなファイバコイルの作成には注意力と精度と熟練が必要です。独自製造技術で作られるNewportのF-TDCコンパクト時間遅延コイルならば挿入損失の極めて小さなコイルを納得のゆく予算と大きさでお届けすることができます。貴重なスペースを占拠する大きなファイバースプールや小口径スプールによる大きな挿入損失で悩むことはもうありません。大きな遅延を小さなコイルで実現したいという要望に応え、フォトニクス市場に長く欠けていた分野を埋めてくれるのがNewportの光ファイバコイルです。コイルは頑丈にパッケージングされていますから、現場での取り扱いにも十分耐えることができます。

指定の時間遅延を発生させるファイバ長を計算するには次の式を用います：

$$L = c\Delta t/n$$

c が真空中での光速の場合、 Δt は希望する時間遅延、 n は目的とする波長におけるフューズドシリカの屈折率を表します。このファイバでは波長1,310 nmにおいて $n=1.4677$ 、波長1,550 nmにおいて $n=1.4682$ という値になります。

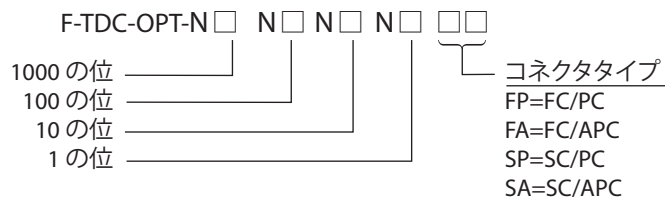
仕様

挿入損失	<0.3 dB/km 代表値 <0.5 dB/km 最大値 (固有損失超過)
ファイバ長 (m)	10 - 4,000
光学遅延範囲	ナノ秒～マイクロ秒、ファイバ長に依存
波長範囲 (nm)	1,260 - 1,650
操作温度範囲 (°C)	-40 - 85
保管温度 (°C)	-40 - 85
ファイバタイプ	Corning SMF-28
寸法 [in.(mm)]	6.00 x 6.00 x 1.59 (152.4 x 152.4 x 40.39)

発注のご案内

モデル	仕様
F-TDC-OPT	コンパクト時間遅延コイル、設定可能なコネクタ

下記に示すテンプレートを利用して希望するファイバ長(10 m ~ 4,000 m)の部品番号を作成してください。



例：FC/APCコネクタ付、ファイバ長1,350 mの時間遅延コイルを発注するには次の番号を指定します；F-TDC-OPT-N1N3N5N0FA

アプリケーション

- 光ネットワーク用光バッファ
- ジャイロスコープ、センサ、信号処理
- レーダ、装置の校正
- レーザ顕微鏡測定
- 光エレクトロニクス発振器の時間遅延レーザー 非線形ファイバループ
- 光ネットワークの試験と解析
- 光パケットスイッチング、バッファリング、ルーティング、入出力同期

注. 時間遅延コイルはカスタム品のため、返品に応じられません。価格に関するお問い合わせ、ご注文は日本レーザーまでご連絡ください。